

独占禁止法

泉水文雄

担当編集から

普段当たり前のように使っている検索サービスやSNSがある日突然あなたに不利になるように規約を変更したからといって気軽にやめられるでしょうか。宿泊や飲食の予約サービスを提供する企業が難しい条件をつけてきたからといってお店はあっさりサービスの利用をやめられるでしょうか。フードデリバリーの配達員がある日突然報酬体系を変えられてもなんの問題もないのでしょうか。

伝統的に独占禁止法の問題になってきた入札談合やカルテルにとどまらず、市場のデジタル化の進展とともにいろいろな問題が日常的にも話題にあがるようになりました。

本書は、独占禁止法がある行為を規制する理由はなにか、ある行為が競争を制限する経路・仕組み・メカニズムはどのようなものであるかを、Theory of Harmと位置づけ、これをできるだけ丁寧に説明して、独禁法の考え方の基礎をなす理論を明快に示します。また、事実関係を丁寧に検討することで、なぜそのように解釈されるのかを明らかにしています。

次々に起こりうる最先端の問題に対して、自分で考え答えを出してゆくことを求められる実務家と、それを指す多くの学生の方に、ぜひトライしてもらいたい一冊です。(W)

Index

独禁法のもっとも基本的な概念を丁寧かつ正確に扱う、企業結合規制を最初に扱っています。

【目次(抄)】

第1章 総論

第2章 企業結合

第7節 垂直型企業結合

第8節 混合型企業結合

第10節 問題解消措置

第3章 不当な取引制限

第4節 入札談合

第8節 非ハードコア・カルテル

第4章 事業者団体

第5章 私的独占

第2節 排除型私的独占

第3節 支配型私的独占

第6章 不正な取引方法

第3節 単独の取引拒絶

第10節 拘束条件付取引

独占禁止法

Antimonopoly Law in Japan
Sensui Fumio

泉水文雄



独禁法を学び、理解し、実務に活かすための

最強のパートナー

独禁法がある行為をなぜ規制するのかに関する基本的な考え方=Theory of Harmを明らかにする。経済分析やエンフォースメントも丁寧に扱った、新たに生起する問題を考えるための羅針盤。

有斐閣

詳細を見る

レベル	用途	対象
上級	学習 研究 実務	LS 研究 法曹 法務

2022年6月発売 / 832頁 / 定価6600円(税込)
A5判 / 上製

第11節 優越的地位の濫用

第7章 国際適用

第1節 独禁法の域外適用

第2節 国際カルテルなど

第8章 個別分野と競争

第2節 知的財産権と独禁法21条

第6節 デジタル・プラットフォームと競争

第7節 消費者保護と競争政策

第9章 エンフォースメント

第2節 課徴金納付命令

第3節 確約手続

第5節 差止請求

景表法についての概要を知りたい方、手始めにもう少しコンパクトな本を希望される方には、姉妹書の『経済法入門』もおすすめです。

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

